

【司会】

時間となりましたので、ただいまから全国地産地消推進フォーラム2008を開会させていただきます。それでは開会に際しまして、岩永浩美農林水産副大臣よりご挨拶をいただきたいと思いますのでご登壇のうえよろしくお願いたします。

1. 来賓挨拶 岩永浩美農林水産副大臣



ただいまご紹介をいただきました、副大臣の佐賀県選挙区参議院議員の岩永浩美でございます。全国地産地消推進フォーラム2008の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。はじめに本フォーラムがこのような多くの方々のご参加のもと、盛大に開催できますことをたいへん嬉しく思います。そして本日地産地消の優良活動としてそれぞれの賞を受賞される皆様方に心からお祝いを申し上げます。また本フォーラムの開催にあたって、ご尽力いただきました関係者の皆様、本日ご講演や各地域における地産地消の活動についてご報告をいただく皆様方に心から感謝を申し上げる次第です。

さて、ご案内のとおり地産地消は、地域で生産されたものを地域で消費するという活動を基本とした取り組みであります。地産地消の取り組みは、直売所などにおける地場農産物の販売を通じて生産者と消費者の間でコミュニケーションが図られ、顔が見え話ができる関係が築かれることにより、国産の農産物に対する信頼の醸成、ひいては食料自給率の向上に寄与することが期待されています。またそれに留まらず、子どもたちをはじめ、その地域の人々が農業や農産物に親近感を感じ、食を通じて子どもたちが豊かな人間性を育むとともに、各地域ならではの食材の再発見や地域の郷土料理の伝承など、地域ごとの豊かな食文化を未来へ継承する役割も担っているところです。農林水産省といたしましては、こうした地産地消の取り組みは、農村漁村の活性化を図る上で、極めて重要であると考えており、昨年11月に公表した農村漁村活性化のための戦略において、高齢小規模農家など、多様な主体が活動できる直売所等による、地産地消の推進を図ることとしたところです。これらの取り組みを推進するにあたっては、経済産業省や文部科学省などの関係省庁と連携し、農業と商工業などの産業間の連携、いわゆる農商工連携の推進や、学校給食への地場農産物の積極的な利用に向けた取り組みを推進することが重要であると考えております。本日、各地域において地産地消に取り組んでいる皆様にご参集いただき、地産地消に関する知見などを共有できることは、各地の地産地消の取り組みを見つめなおし、さらにこれらを強力に推進する上で重要な機会であると考えております。今さら言うまでもなく、わが国には、それぞれの地域の特性に応じた食文化があります。本フォーラムを契機に各地の農業、食材、食文化の多様性についての認識を深めるとともに、これらを尊重しあい地産地消の活動がさらに広がっていくことを期待しております。結びに本フォーラムの成功を心から祈念申し上げて、私のご挨拶といたします。本当に全国各地からご参加いただきありがとうございました。

平成20年2月28日

農林水産副大臣、岩永浩美